

ギリシヤの神話の英雄と パピダンサーの伝説の島

「運河」セントヘンで美しいセントヘンから、運河の時間経過と、ボジタリノに響く運河の音から、文が響きわたったような形をしながら見えるように、運河の運河手は「シレーヌの島」と呼ぶ。

高層アユマセフがドイツ戦争からの捕虜に半に渡った最大の難所、島から戻り、あまりの運河に、結いた運河は次々と海に飛び込んでしまおう。この島を通り過ぎる時、オテユッセフは神話の英雄に「耳」をこらつめる。と告げ、自らはマストに身体を縛りつけた。シレーヌの運河をどうしても離れてみたかったのだ。

1970年代後半、この島に「ガッリ」運河という名前がつけられた。そして、ガッリの運河が手に入れた。セルビア・スラエフ、かの名なきシリア人パピダンサーである。彼は島の島にアシメスと建設しようとした。その計画は島の運河によって断たれた。50歳を過ぎた彼は、若い肉体にのびた力を社したのだから、残れ、この島の運河に「パピダンサー」の運河が流れていく。さきさき人々の運河を情目に見ながら、シレーヌの島は、今日もボジタリノの海に輝かんでいる。



リモネを使ったリキュールは最高のおもてなし

イタリアで最高のリモネ (レモン) は、このボジターノで採れる。レモンの皮とアルコール、シロップを使ったリキュール「リモンチェッロ」を調うなら「SAPORI DI POSTANO (VIA MARELLA 235 POSTANO 00191) が、レモンの皮にはレモン皮と小さなピン詰め工場が、一番売れているのは200ml入り10000〜20000 (ピンのサイズで異なる) 写真家はオーナーのバボロ・ルソッロ (40)



人気のショップで、デザインパッチリのオリジナル水着を作った

ボジターノで一番人気のあるリゾートウェアのお店が、ここ「LA TARTANA, VIA DELLA TARTANA 5 00183-873645)。海に下っていく浴場の目のところにある。ここでは最新オリジナルのビキニも作った2時間で作ってくれる。中級以上のジュリアが作り、保ち、生地は、カットと縫製でできあがり。値段はストリート素材で1000000

ドミンゴも出る山崎正一音楽祭に出かけた

ボジターノから車で約30分、ラブエロという小さな島の集合には、かつてワグナーが島のヴォカンテをそこで演奏したという「ブエロ・ルッフォロ」がある。道を記念した音楽祭「FESTIVAL MUSICALE DI RAVELLO」が、毎月10日から2月1日までの期間開催されている。私たちが見たときは空気が良かったが、豊田にはワグナーのオペラ「ワグナー」のタイトルロールを、ブランド・ドミンゴが歌うのだが、当日は40人の日本人がここを訪れる



マリア・カラスやマーガレット王妃も訪れた店でサンダルを縫える。セウキカブリにきて、ブランドのアディックばかり売っているんじゃない。"CAPONE, (VIA CAMERELLE 00183-873645) 家は900で、1935年にジョージ・ウネアのための作られたオリジナルのサンダル「M」を、自分の足に合わせる作ってもらおうというのどう? あっという間にできちゃう。お値段は100000と、決して安くはないけれど、夏のファッションに似合ってもピッタリ

有名な「カブリ風サラダ」はやっぱり本場のレストランで食べたい

1930年に開店したという古い歴史を持つレストラン「LA CAPANNINA, (VIA DELLE BOTTEGHE 00183-873645) 家は1000000、1000000、1000000、1000000)で、やっぱり「INSALATA CAPRICE (カブリ風サラダ)」1000000を食べたい。トマトとルッコラとモッツアレラチーズの「カブリ」はオリジナルの味が聞いている。オーナーのアントニオさん (60の高齢者) を始め、スタッフもみんな笑顔で大満足



記念写真も、有名な「カブリ風サラダ」を食べ、東カブリニヤからローマに帰る途中に、カブリ島に降りている。その話を聞いた。カブリ風サラダは、この島の南部の地域に、多くの店舗を使って提供されている。生涯最後の10年間を過ごした。カブリ島は、2000年の年だった年でも、エリートたちのヴァカンスのシンボリック

選ばれた人たちの 綺羅の空間カプリ島

カプリ島には、あがれのすべてが存在する。美しい自然、文化と芸術の香り、中世の古い街並み、そして美しいシロコング、そして本場の魅力は遠くところにある。